『大学生のための 法学トレーニング 大林啓吾・岡田順太・白水降 編著 二省堂

「法学部に入ったはいいけれど 大学での学び方がよくわから ない」という学生、「法学系の 科目を履修するために、勉強の 仕方を知っておきたい! という 学生に。法学を題材に、大学の 授業に必要不可欠な基礎技法 を学ぶことを目的とします。

発達心理学の視点から、乳幼

児の心(おさなごころ)と大

人の心とがどう違うのか、乳

スターバックスブランドの強

さの秘密とは?本社の元マー

ケティング担当である著者に

よる[スターバックス]のエッ

センスが詰まった一冊。社員

の間で言い伝えられてきた独

白の46のルールを紹介。



[本館・分館]



『チャイルド・プア 社会を蝕む子どもの貧困」 新井直之 著 TOブックス



369.4 AR

[本館]

No problem. は問題あり?

Thank you in advance. (\$\dag{\pi}\$

世界でもっとも有名な絵画のひと

つであるゴッホの「ひまわり」は

全部で十一作品の連作です。その

一枚一枚にはそれぞれ多くの謎が

存在しています。日本に存在した

幻の「ひまわり」とは一体?現代

今、全世界で、500年に一度

の「ことば」の大転換期が始

まっている。「書きことば」

に変わる「ネットことば」が

人間の思考の根本を変える!

2014年1月、子どもの貧困

対策法施行!大反響を呼んだ

NHK「特報首都圈」単行本

化!車上生活、母親の自殺、

10代でホームレス…300万

人を越す声なき子どもたちを

取り巻く貧困の実態に迫りま

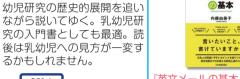


『おさなごころを科学する: 進化する乳幼児観』 森口佑介 著 新曜社



るかもしれません。

「本館]



『英文メールの基本:ネイティ ブに誤解なくきちんと伝わる』 内藤由美子 著 日本実業出版社



高圧的?直訳できない挨拶や 表現はどう言う?言いたいこ と、書けていますか?日本人 が間違いやすいポイントを知 りつくした英文添削のプロが 教える即効上達のコツ。



「本館]



「スターバックスはなぜ値下げもテレビCMも しないのに強いブランドでいられるのか?」 ジョン・ムーア 著:花塚恵 訳 ディスカヴァー・トゥエンティワン

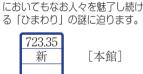


[本館]

『ゴッホのひまわり 全点謎解きの旅 朽木ゆり子 著 集英社







[本館]



『アンパンマンの遺書』 やなせたかし 著 岩波書店

者でもある戦中派の作者が、 自身の風変わりなホップ・ス テップ人生を語る。銀座モダ ンボーイの修業時代、焼け跡 からの出発、長かった無名時 代、そしてついに登場するア ンパンマンー。

「手のひらを太陽に」の作詞



「本館]



『ネットで「つながる」こと の耐えられない軽さ』 藤原智美 著 文藝春秋



「本館]

今号「図書館スタッフのオススメ本」の掲載欄にある、青枠3段 表示の「図書ラベル」の見方はご存知ですか?これは、図書の背 表紙に貼付されており、上段から【分類番号/著者名などの頭文 字/各巻表示など】となります。書架の図書は、分類番号順に配 架されていますので、本を手に取る際に確認してみてくださいね。

平成26年10月25日 発行

集 図書館だより編集委員会 行 白鷗大学総合図書館

〒323-8585 栃木県小山市大行寺1117

http://hakuoh.ip/library/index.html

株尚文堂印刷所

図書館だより

HAKIOH

第44号2014.10

ひらかれた白鷗大学図書館

― 総合図書館長就仟のごあいさつ ―

教育学部教授 仁 平



四月から総合図書館長になり、ユーザーから サービス側に立場が変わりました。図書館の皆様、 学内の皆様にはよろしくお願い申し上げます。

さて、"たくさんの蔵書を誇って、検索した資 料を学内関係者だけが静かに読む空間"という古 い大学図書館のイメージも機能も、急速に変わり つつあります。文部科学省は平成22年、「大学図 書館の整備について一変革する大学にあって求め られる大学図書館像― | という学術情報基盤作業 部会の審議まとめの中で、図書館に大幅な変革を 期待しました。それ以来、まとめの中でも取り上 げられた"ラーニング・コモンズ"の設置が大学 に推奨されるようになっています。

コモンズというのは、古い意味では"共有地、 入会地"。転じて学生用の大食堂という意味でも 使われてきましたが、まとめでは"ラーニング・ コモンズ"は「大学図書館等における、学生が学 習のために使うことのできる共有スペースのこと です」としています。個人の自習環境にとどまら ず、グループ活動エリア、PC利用エリア等、グルー プワークに適した学習環境の機能と空間になりま す。現在では、かなりの大学で"ラーニング・コ モンズ"というカタカナのこなれない名称のまま

の空間が整備されています。大学によっては、カ フェやディスカッション・コーナーまで備えて、 静かな読書空間という古い枠から飛び出したもの になりました。

この背景には、文科省の中教審答申をてこに 使った「単位認定の厳格化」という方針がありま す。大学で1単位の認定には、授業時間だけでな く前後の自発的な学習を含めた45時間の学習が必 要、そのためには学生の能動的な学習(アクティ ブ・ラーニング)を支援しなければならない、そ れを担保するリソースの一つがラーニング・コモ ンズだという理屈です。

本学でも、ラーニング・コモンズの整備に向け た検討を開始しました。学生の学習支援全体にか かわるリソースの問題として、ご協力をお願い申 し上げます。

ラーニング・コモンズは"学内にひらかれた" 図書館の問題ですが、もう一つは"社会にひらか れた"図書館の問題です。大学は市民のものでも あるという考えが行きわたり、以前から、どこの 大学も図書館を一般に開放するようになりまし た。本学も市民の方の図書閲覧は可能ですが、貸 し出しをしていないという点では、少数派大学に なっています。夏休み期間に限って高校生に図書 館を開放する大学もあります。市民開放の拡大が どこまで可能か、この点も検討課題の一つです。 高校生に開放する場合には、高校生に白鷗大学に 親近感をもってもらえるよう、「白鷗大学関係図 書コーナー」をつくって、教職員の皆様の著書を 展示したいという構想もあります。その際には、 ご著書の提供をいただければ幸いです。

このように白鷗大学総合図書館も"ひらかれた 図書館"としての性格を明確にするための検討を 開始しました。とはいえ、文部科学省が大学に求 めるあり方に受動的に追随するだけでなく、本学 の学是「PLUS ULTRA」らしい、独自な視点か らも"ひらかれた図書館"の積極的なあり方をさ らに考えたいと思っております。

本のある空間





私の隣で飼い犬が吠えた。

私が高校生のころ、実家では、体重でいうと2 キロくらいの小さく、真っ白な犬を飼っていた。 名前は「メル」。誰が名付けたのか、気が付くと 家族はみんなそう呼んでいた。そんなメルが、私 がソファーに座って本を読んでいると、私の隣に ちょこんと座っていた。

いつも、そうだった。高校生のころ、私は野球 部に所属しており、平日は授業が終わってから、 休日は朝から晩まで、白球とは到底言えない、グ ラウンドの土で汚れた焦げ茶色のボールを、無駄 とも思えるほどに必死に追っかけるという毎日を 過ごしていた。そんな日々にあって、たまに家で テレビを観るなどしてボーとしている時には、い つの間にか、気付くと私の近くにメルがいた。そ れが自然だった。何か用がない限り、その存在を 意識しないし、向こうから何か訴えかけてこない 限り、空気のように、ただそこに居るだけの存在 であった。それと同時に、掛け替えのない存在で もあった。そこに居てくれるだけで、心地よかっ

私は、買った本でも、読んでない本は山ほどあ

る。ビッチリと、アンダーラインが引かれたり、 感想など書かれたりしているものや、部分的に摘 み食いのようにして読んだ形跡のある本からほと んど開いた形跡すらないものまで。どれも、気に なって買った本だ。けれど、読まなかったからと 言って、失敗したと後悔したことはない。もしか したら、今後、ずっと読むことがないものもある かもしれない。そこに、気になる本があるという だけでいい。それで、十分だ。本がある、そんな 風景を眺めるだけで、心地よい気分になれる。整 然と並べられていなくとも、床などに雑然と積み 上げられているような状態であってもよい。本の ある空間に自分がいるということ、それで十分で ある。それは、自分の部屋ではなく、学校や公立 の図書館などでもいい。

図書館といえば、世界には、実に様々な図書館 がある。たとえば、アイルランドのダブリン大学 トリニティ・カレッジ図書館は、観光スポットの 一つにもなっているようだ。この図書館の旧館で あるオールド・ライブラリーには、天井がかまぼ こ型の、長さ65メートル近くにも及ぶ長い部屋が あり、上下層に書架が整然と並べられ、見るもの を圧倒し、魅了するという。世界で最も美しい本 と評される「ケルズの書」が所蔵されていること でも有名である。

一方、国内に目を向けてみると、国立国会図書 館をはじめ、都道府県や市町村に多くの公立の図 書館などがある。しかし、図書館は建物として存 在するものだけではない。自動車などを利用した 移動図書館がその例である。平成23年3月11日の 東日本大震災は、東日本を中心に未曾有の損害を もたらした。岩手県南東部の太平洋岸にある陸前 高田市の市立図書館も、この東日本大震災によっ て壊滅し、8万冊もの蔵書が流出するなどの損害 を被った。しかし、翌4月には、書籍などを載せ て各地を巡ることができる移動図書館車や図書の

寄贈があり、その数か月後には、その運行が開始 され、震災で辛い思いをしている被災者の元へと、 本のある空間が動き出していたそうだ。

そう言えば、私は、本のある空間へ自分から近 付いていった。まるでメルのように、そこにいる ことが当たり前の存在になっていった。学生のみ なさんの中には、普段から本に馴染みがある人も いれば、そうでない人もいると思う。馴染みのな い人は、是非、自ら本のある空間に身を置いてほ しい。本を購入することを躊躇するのであれば、 図書館に行って、本を眺めたり、最初のうちは、 多少の時間、そこにいるだけでもいい。そのうち、 本のあること、本のある空間が心地よく、そして、 自然に思えてくるはず。

◆図書館スタッフのオススメ本を紹介します



『池上彰の教養のススメ』 池上彰 著 日経BP社

大学树内的外

「大学図書館がゼロからわかる本:

学生のための図書館活用法」

大野友和 編 日本図書館協会

嫌

われる

勇気

教養を身につけるとは、歴史 や文学や哲学や心理学や芸術 や牛物学や数学や物理学やさ まざまな分野の基礎的な知の 体系を学ぶことで、世界を知 り、自然を知り、人を知るこ とです。

現役の大学図書館員による、

図書館への誘い。図書館の役

割から文献の探し方、論文、

レポート作成法までを分かり

易く説いた、大学図書館活用

フロイト・ユングと並び「心理学の

三大巨頭」の一人であるアドラー。

その思想を「青年」と「哲人」の対

話形式にしてまとめた一冊。「どう

すれば人は幸せに生きることができ

002

ΙK

の必読入門書。

017.7

ON

[本館]



デザイン: 「わかりやすいス ライド」作りのルール」 宮野公樹 著 講談社



「研究発表のためのスライド



本的な考え方と「見た瞬間に 伝わってしまうスライド」の ルールを厳選収録。 ルールを守るだけで、誰でも

スライド作りに欠かせない根

簡単に「わかりやすいスライ ド」を作れるようになります。

これまでの出版業界や書店の

動き、および著者の経験と活

動が書かれています。



[分館]



内沼晋太郎 著 朝日出版社





「本館]



020.4



『落書きに歴史をよむ』 三上喜孝 著 吉川弘文館

た?今も各地の古寺に残る、参詣者 や武士の「落書き」。たかが落書き、 されど落書き…当時の人々の「生の 声」である落書きは歴史的資料にな りえるのか。残された「落書き」に 込められた人々の思いとは…

210.02 MI

[本館]

『嫌われる勇気:自己啓発の 源流「アドラー」の教え」 岸見一郎・古賀史健 著 ダイヤモンド社

他者から嫌われる

るのか」という問いにシンプルで具 体的な答えを教えてくれます。 146.1 ΚI

[本館]

「分館]